

学校コード F113310103055

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

注2

順天堂大学 医療科学部 臨床工学科

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人順天堂  
令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名

カチョウホサ ナカシオ ヨシユキ  
課長補佐 中塩 義幸

電話番号

047-354-3311

（夜間）

047-354-3311

e-mail

y.nakashio.zt@juntendo.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

( ) 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

# 目次

医療科学部

＜臨床工学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	13
6. 附帯事項等に対する履行状況等	26
7. その他全般的事項	27

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人順天堂

## (2) 大学名

順天堂大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒279-0013  
千葉県浦安市日の出6-8-1

(〒113-8421)  
(東京都文京区本郷2-1-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オガワ ヒデオキ) 小川 秀興 (平成16年4月)		
学長	(アライ ハジメ) 新井 一 (平成28年4月)		
学部長	(ナガオカ イサオ) 長岡 功 (令和4年4月)		
学科長等	(ミネシマ ミチオ) 峰島 三千男 (令和4年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
医療科学部 臨床工学科 学士（臨床工学）	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	4 年	70 人		280 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	-	-	-	-	-	-	-	-	70	-	1.00倍	-	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )			
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]			
志願者数	-	-	-	-	-	-	-	-	274	-			
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )			
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]			
受験者数	-	-	-	-	-	-	-	-	265	-			
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )			
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]			
合格者数	-	-	-	-	-	-	-	-	123	-			
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )			
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]			
B 入学者数	-	-	-	-	-	-	-	-	70	-			
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )			
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]			
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	- [ - ] (-)	- [ - ] (-)	- [ - ] (-)	- [ - ] (-)	- [ - ] (-)	- [ - ] (-)	- [ - ] (-)	- [ - ] (-)	70 [ - ] (-)	- [ - ] (-)	
2年次	/		- [ - ] (-)	- [ - ] (-)	- [ - ] (-)	- [ - ] (-)	- [ - ] (-)	- [ - ] (-)	- [ - ] (-)	- [ - ] (-)	
3年次			/		/		- [ - ] (-)	- [ - ] (-)	- [ - ] (-)	- [ - ] (-)	- [ - ] (-)
4年次	/						/		/		- [ - ] (-)
計			- [ - ] (-)	- [ - ] (-)	- [ - ] (-)	- [ - ] (-)					- [ - ] (-)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、**留学生の状況について内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況について、内数で記入**してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ **編入学生や転入学生も含めて記入**してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」**を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	— 人	— 人	平成30年度	人	人	
令和元年度	— 人	— 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	— 人	— 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	— 人	— 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	70 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合 計		0 人		人	人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{70} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<医療科学部 臨床工学科>

### (1) -① 授業科目表

#### 【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人間科学系	科学と哲学	1前	1								1	
	生命倫理	1前	1								1	
	日本近現代史	1後	2								1	
	人間関係論(コミュニケーション論)	1後	2								2	
	情報コミュニケーション論	1後	2								1	
	臨床心理学	2前	2								2	
	法と社会	2前	2								1	
	現代社会と経済	2前	2								1	
	小計(8科目)	—	2	12	0	0	0	0	0	0	0	7
	自然科学系	基礎数学	1前	1								1
基礎物理学		1前	1		1							
基礎化学		1前	1								1	
基礎生物学		1前	1								1	
情報科学基礎演習		1前	1		1	1					2	
小計(5科目)	—	1	4	0	2	1	0	0	0	0	3	
基礎分野	英語Ⅰ	1前	1								3	
	英語Ⅱ	1後	1								3	
	英語表現Ⅰ	2前	1								2	
	英語表現Ⅱ	2後	1								2	
	医療英語	3前	2								1	
	中国語Ⅰ(入門)	2前	2								1	
	中国語Ⅱ(初級)	2後	2								1	
	フランス語Ⅰ(入門)	2前	2								1	
	フランス語Ⅱ(初級)	2後	2								1	
	スペイン語Ⅰ(入門)	2前	2								1	
	スペイン語Ⅱ(初級)	2後	2								1	
	国語表現法	1前	2								3	
	スポーツ理論・実技	1後	1					1				
	スポーツ健康運動方法論	1後	1					1				
小計(14科目)	—	6	16	0	0	0	0	1	0	0	12	
総合	キャリアデザインゼミナール	1前	1			4	4	1				
	小計(1科目)	—	1	0	0	4	4	1	0	0	0	
専門基礎分野	解剖学	1前	2								1	
	生理学	1前	2				1				3	
	生化学	1前	2		1						1	
	病理学	1後	2								1	
	血液学	1後	1								1	
	基礎医学実習	1後	1			2	1				1	
	小計(6科目)	—	10	0	0	1	2	1	0	0	3	
	医学概論	1前	1								2	
公衆衛生学	1前	2								1		
看護学概論	1後	1								1		
臨床薬理学	1後	2								1		
臨床免疫学	1後	1								1		
病態生理学	1前	1			1					1		
臨床生化学	1前	1			1					1		
栄養学・臨床栄養学	1後	1								1		
放射線医学概論	1後	1								1		
医療関連法規	1後	1								1		
チーム医療	4前	1								1		
小計(11科目)	—	7	6	0	0	2	0	0	0	0	8	

#### 【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人間科学系	科学と哲学	1前	1								1	
	生命倫理	1前	1								2	
	日本近現代史	1後	2								1	
	人間関係論(コミュニケーション論)	1後	2								2	
	情報コミュニケーション論	1後	2								1	
	臨床心理学	2前	2								2	
	法と社会	2前	2								1	
	現代社会と経済	2前	2								1	
	小計(8科目)	—	2	12	0	0	0	0	0	0	0	8
	自然科学系	基礎数学	1前	1								1
基礎物理学		1前	1		1							
基礎化学		1前	1								1	
基礎生物学		1前	1								1	
情報科学基礎演習		1前	1		1	1					2	
小計(5科目)	—	1	4	0	2	1	0	0	0	0	3	
基礎分野	英語Ⅰ	1前	1								3	
	英語Ⅱ	1後	1								3	
	英語表現Ⅰ	2前	1								2	
	英語表現Ⅱ	2後	1								2	
	医療英語	3前	2								1	
	中国語Ⅰ(入門)	2前	2								1	
	中国語Ⅱ(初級)	2後	2								1	
	フランス語Ⅰ(入門)	2前	2								1	
	フランス語Ⅱ(初級)	2後	2								1	
	スペイン語Ⅰ(入門)	2前	2								1	
	スペイン語Ⅱ(初級)	2後	2								1	
	国語表現法	1前	2								3	
	スポーツ理論・実技	1後	1						1			
	スポーツ健康運動方法論	1後	1						1			
小計(14科目)	—	6	16	0	0	0	0	0	1	0	10	
総合	キャリアデザインゼミナール	1前	1			4	2	1				
	小計(1科目)	—	1	0	0	4	2	1	0	0	0	
専門基礎分野	解剖学	1前	2								1	
	生理学	1前	2				1				3	
	生化学	1前	2		1						1	
	病理学	1後	2								1	
	血液学	1後	1								1	
	基礎医学実習	1後	1			1	1				1	
	小計(6科目)	—	10	0	0	1	1	1	0	0	6	
	医学概論	1前	1								2	
公衆衛生学	1後	2								1		
看護学概論	1後	1								6		
臨床薬理学	1後	2								1		
臨床免疫学	1後	1								1		
病態生理学	1前	1			1					1		
臨床生化学	1前	1			1					1		
栄養学・臨床栄養学	1後	1								1		
放射線医学概論	1後	1								1		
医療関連法規	1後	1								1		
チーム医療	4前	1								1		
小計(11科目)	—	7	6	0	0	1	1	0	0	0	13	





卒業要件及び履修方法
<p>&lt;卒業要件&gt; 必修115単位、選択14単位以上、合計129単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限:46単位(1年次・2年次)、40単位(3年次・4年次))</p> <p>&lt;履修方法&gt; ・基礎分野の「人間科学系」は、必修2単位に加え、「日本近現代史」「人間関係論(コミュニケーション論)」「情報コミュニケーション論」「臨床心理学」「法と社会」「現代社会と経済」から4単位以上を修得すること。 ・基礎分野の「自然科学系」は、必修1単位に加え、「基礎数学」「基礎物理学」「基礎化学」「基礎生物学」から2単位以上を修得すること。 ・基礎分野の「言語とスポーツ系」は、必修6単位に加え、「英語表現Ⅰ」「英語表現Ⅱ」「医療英語」「中国語Ⅰ(入門)」「中国語Ⅱ(初級)」「フランス語Ⅰ(入門)」「フランス語Ⅱ(初級)」「スペイン語Ⅰ(入門)」「スペイン語Ⅱ(初級)」から4単位以上を修得すること。 ・基礎分野の「総合」は必修1単位修得すること。 ・専門基礎分野「人体の構造と機能」は、必修10単位修得すること。 ・専門基礎分野「臨床工学に必要な医学的基礎」は、必修7単位に加え、「病態生理学」「臨床生化学」「栄養学・臨床栄養学」「放射線医学概論」「医療関連法規」「チーム医療」から4単位以上を修得すること。 ・専門基礎分野「臨床工学に必要な理工学的基礎」は、必修18単位以上を修得すること。 ・専門基礎分野「臨床工学に必要な医療情報技術とシステム工学の基礎」は、必修9単位修得すること。 ・専門分野「医用生体工学」は、必修7単位修得すること。 ・専門分野「医用機器学」は、必修10単位修得すること。 ・専門分野「生体機能代行技術学」は、必修15単位修得すること。 ・専門分野「医用安全管理学」は、必修8単位修得すること。 ・専門分野「関連臨床医学」は、必修8単位修得すること。 ・専門分野「臨床実習」は、必修5単位修得すること。 ・専門分野「総合研究」は、必修8単位修得すること。</p>

卒業要件及び履修方法
<p>&lt;卒業要件&gt; 必修115単位、選択14単位以上、合計129単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限:46単位(1年次・2年次)、40単位(3年次・4年次))</p> <p>&lt;履修方法&gt; ・基礎分野の「人間科学系」は、必修2単位に加え、「日本近現代史」「人間関係論(コミュニケーション論)」「情報コミュニケーション論」「臨床心理学」「法と社会」「現代社会と経済」から4単位以上を修得すること。 ・基礎分野の「自然科学系」は、必修1単位に加え、「基礎数学」「基礎物理学」「基礎化学」「基礎生物学」から2単位以上を修得すること。 ・基礎分野の「言語とスポーツ系」は、必修6単位に加え、「英語表現Ⅰ」「英語表現Ⅱ」「医療英語」「中国語Ⅰ(入門)」「中国語Ⅱ(初級)」「フランス語Ⅰ(入門)」「フランス語Ⅱ(初級)」「スペイン語Ⅰ(入門)」「スペイン語Ⅱ(初級)」から4単位以上を修得すること。 ・基礎分野の「総合」は必修1単位修得すること。 ・専門基礎分野「人体の構造と機能」は、必修10単位修得すること。 ・専門基礎分野「臨床工学に必要な医学的基礎」は、必修7単位に加え、「病態生理学」「臨床生化学」「栄養学・臨床栄養学」「放射線医学概論」「医療関連法規」「チーム医療」から4単位以上を修得すること。 ・専門基礎分野「臨床工学に必要な理工学的基礎」は、必修18単位以上を修得すること。 ・専門基礎分野「臨床工学に必要な医療情報技術とシステム工学の基礎」は、必修9単位修得すること。 ・専門分野「医用生体工学」は、必修7単位修得すること。 ・専門分野「医用機器学」は、必修10単位修得すること。 ・専門分野「生体機能代行技術学」は、必修15単位修得すること。 ・専門分野「医用安全管理学」は、必修8単位修得すること。 ・専門分野「関連臨床医学」は、必修8単位修得すること。 ・専門分野「臨床実習」は、必修5単位修得すること。 ・専門分野「総合研究」は、必修8単位修得すること。</p>

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・ 非常勤講師の就任により、「生命倫理」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更
- ・ 専任教員の就任及び退任により、「キャリアデザインゼミナール」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授2」に変更
- ・ 専任教員の就任及び退任により、「生理学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」、「兼任・兼担0」から「兼任・兼担3」に変更
- ・ 専任教員の就任及び退任により、「基礎医学実習」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更
- ・ 学修効果をより高めるため、「公衆衛生学」の配当年次を「1前」から「1後」に変更
- ・ 非常勤講師の就任により、「看護学概論」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担6」に変更
- ・ 学修効果をより高めるため、「医療関連法規」の配当年次を「1後」から「1前」に変更
- ・ 専任教員の就任及び退任により、「病態生理学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「講師0」から「講師1」に変更
- ・ 学修効果をより高めるため、「生体物性工学」の配当年次を「2後」から「3前」に変更
- ・ 学修効果をより高めるため、「生体材料工学」の配当年次を「2後」から「3前」に変更
- ・ 専任教員の就任及び退任により、「医用治療技術学Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「講師0」から「講師1」に変更
- ・ 専任教員の就任及び退任により、「医用治療技術学実習」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」に変更
- ・ 専任教員の就任及び退任により、「呼吸機能代行装置学実習」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更
- ・ 専任教員の就任及び退任により、「循環器機能代行装置学Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「講師0」から「講師1」に変更
- ・ 専任教員の就任及び退任により、「循環器機能代行装置学実習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更
- ・ 専任教員の就任及び退任により、「代謝機能代行装置学実習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授2」から「准教授1」に変更
- ・ 専任教員の退任により、「医用機器安全管理学Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更
- ・ 専任教員の退任により、「医用機器安全管理学実習」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更
- ・ 専任教員の退任により、「臨床実習」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授4」に変更
- ・ 専任教員の退任により、「臨床工学総合演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授4」に変更
- ・ 専任教員の退任により、「臨床工学総合演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授4」に変更
- ・ 専任教員の退任により、「卒業研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授4」に変更
- ・ 専任教員の退任により、「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授4」に変更

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
71 科目	25 科目	0 科目	96 科目	71 科目 [       ]	25 科目 [       ]	0 科目 [       ]	96 科目 [       ]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{96} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	浦安日の出キャンパス 整備等に伴う変更 (4)		
	校舎敷地	166,730 m <sup>2</sup> <del>166,857 m<sup>2</sup></del>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	166,730 m <sup>2</sup> <del>166,857 m<sup>2</sup></del>			
	運動場用地	142,366 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	142,366 m <sup>2</sup>			
	小 計	309,095 m <sup>2</sup> <del>308,223 m<sup>2</sup></del>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	309,095 m <sup>2</sup> <del>308,223 m<sup>2</sup></del>			
	そ の 他	147,111 m <sup>2</sup> <del>147,814 m<sup>2</sup></del>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	147,111 m <sup>2</sup> <del>147,814 m<sup>2</sup></del>			
	合 計	456,206 m <sup>2</sup> <del>456,037 m<sup>2</sup></del>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	456,206 m <sup>2</sup> <del>456,037 m<sup>2</sup></del>			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体借用面 積:1,794m <sup>2</sup> 2,794m <sup>2</sup> 浦安日の出キャンパス 整備等に伴う変更 (4)		
		150,661 m <sup>2</sup> <del>137,721 m<sup>2</sup></del> (137,721 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	150,661 m <sup>2</sup> <del>137,721 m<sup>2</sup></del> (137,721 m <sup>2</sup> )			
(3) 教 室 等		講 義 室 6室	演 習 室 6室	実験実習室 13室	情報処理学習施設 1室 (補助職員 0人)	語学学習施設 3室 (補助職員 0人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称 医療科学部		室 数 18 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分 図書 (4) 297,111冊295,139冊 〔104,969冊〕-〔104,915 冊〕- 学術雑誌 5,378種5,350種 〔2,009種〕-〔2,008種〕- 電子ジャーナル 43,549誌35,565誌 〔41,945誌〕-〔34,013 誌〕- 視聴覚資料 3,808点3,756点 機械・器具 52,971点 標本 684点
	医療科学部	7,350 [1,850] ( 3,670 [920] )	33 [13] ( 15 [6] )	3 [3] ( 2 [2] )	100 (30)	1,220 (610)	10 (5)	
	計	7,350 [1,850] ( 3,670 [920] )	33 [13] ( 15 [6] )	3 [3] ( 2 [2] )	100 (30)	1,220 (610)	10 (5)	
(6) 図 書 館		面 積 3,818m <sup>2</sup> <del>3,374m<sup>2</sup></del>	閱 覧 座 席 数 893 693	収 納 可 能 冊 数 323,967 210,195				
(7) 体 育 館		面 積 17,386m <sup>2</sup>	体育館以外のスポーツ施設の概要		図書館、体育館及びス ポーツ施設は大学全体 を記載			
			柔道場 1室	剣道場 1室	浦安日の出キャンパス 整備等による変更 -〔3〕- (4)			
			テニスコート 14面15面	サッカー場 1面				
			ラグビー場 1面	陸上競技場 1面				
			室内プール 1面	野球場 1面				
			ゴルフ練習場 1面	投てき場 1面				
			フットサルコート 2面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	14,000千円	3,600千円	3,600千円
	共同研究費等	2,000千円	3,000千円	設備購入費	200,000千円	50,000千円	10,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次 1,750千円	第2年次 1,780千円	第3年次 1,780千円	第4年次 1,780千円	第5年次 — 千円	第6年次 — 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、事業収入、補助金収入等の一部を充当する						

4. 既設大学等の状況

大学の名称	順天堂大学				学生募集停止学科数	3	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考			
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員超過率				平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	
					R元年度	R2年度	R3年度	R4年度				
	年	人	年次	人	倍	倍	倍	倍	倍	年度	年度	
医学部 医学科	6	138	-	826	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	令和4	昭和27	平成30年度 定員変更(3) 令和2年度 定員変更(△5) 令和3年度 定員変更(1) 令和4年度 定員変更(2)
スポーツ健康科学部	4	600	-	2020	1.00	1.02	1.01	1.03	1.01	令和3	平成5	令和3年度 定員変更(190)
スポーツ健康科学科	4	600	-	1200	-	-	1.01	1.03	1.02	令和3	令和3	令和3年度 設置(600)
スポーツ科学科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成5	令和3年度 学生募集停止
スポーツマネジメント学科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成5	令和3年度 学生募集停止
健康学科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成5	令和3年度 学生募集停止
医療看護学部 看護学科	4	220	-	820	1.00	1.01	1.00	0.96	0.99	令和4	平成16	令和4年度 定員変更(20)
保健看護学部 看護学科	4	130	-	490	1.02	1.03	1.05	1.03	1.03	令和4	平成22	令和4年度 定員変更(10)
国際教養学部 国際教養学科	4	240	-	960	1.04	1.00	1.01	0.98	1.00	令和元	平成27	令和元年度 定員変更(120)
保健医療学部	4	240	-	960	1.01	1.00	1.00	1.02	1.00	令和元	令和元	令和元年度 開設(240)
理学療法学科	4	120	-	480	1.01	1.00	1.00	1.02	1.00	令和元	令和元	令和元年度 開設(120)
診療放射線学科	4	120	-	480	1.01	1.00	1.00	1.02	1.00	令和元	令和元	令和元年度 開設(120)
医療科学部	4	180	-	180	-	-	-	1.01	1.01	令和4	令和4	令和4年度 開設(180)
臨床検査学科	4	110	-	110	-	-	-	1.02	1.02	令和4	令和4	令和4年度 開設(110)
臨床工学科	4	70	-	70	-	-	-	1.00	1.00	令和4	令和4	令和4年度 開設(70)
大学全体	-	1748	-	6256	-	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	順天堂大学大学院				学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	2	備考			
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員超過率				平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	
					R元年度	R2年度	R3年度	R4年度				
	年	人	年次	人	倍	倍	倍	倍	倍	年度	年度	
大学院 医学研究科 医科学専攻 (修士課程)	2	60	-	120	1.36	1.60	1.28	1.62	1.45	-	平成25	
大学院 医学研究科 医学専攻 (博士課程)	4	180	-	700	1.11	0.90	0.98	1.12	1.02	-	昭和34	令和2年度 定員変更(20)
大学院 スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 (博士前期課程)	2	61	-	122	0.91	1.01	1.03	1.10	1.06	-	平成9	
大学院 スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 (博士後期課程)	3	10	-	30	2.10	1.80	1.40	1.10	1.60	-	平成12	
大学院 医療看護学研究科 看護学専攻 (博士前期課程)	2	29	-	54	1.30	0.96	1.08	1.07	1.07	-	平成19	令和4年度 定員変更(4)
大学院 医療看護学研究科 看護学専攻 (博士後期課程)	3	12	-	32	1.10	1.00	1.00	0.50	0.90	-	平成26	令和4年度 定員変更(2)
大学院全体	-	352	-	1058	-	-	-	-	-	-	-	

5 教員組織の状況

<医療科学部 臨床工学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長岡 功 (67) <令和4年4月> 博士(医学)
		キャリアデザインゼミナール 生化学 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	峰島 三千男 (67) <令和4年4月> 工学博士
		キャリアデザインゼミナール 応用数学Ⅰ 応用数学Ⅱ 医用機械工学 代謝機能代行装置学Ⅰ 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	佐藤 正一 (63) <令和4年4月> 博士(保健学)
		情報科学基礎演習 キャリアデザインゼミナール 医用画像処理工学 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	六車 仁志 (56) <令和4年4月> 博士(工学)
		基礎物理学 キャリアデザインゼミナール 医用電気工学Ⅱ システム工学 システム工学演習 医用生体工学演習 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長岡 功 (67) <令和4年4月> 博士(医学)
		キャリアデザインゼミナール 生化学 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	峰島 三千男 (67) <令和4年4月> 工学博士
		キャリアデザインゼミナール 応用数学Ⅰ 応用数学Ⅱ 医用機械工学 代謝機能代行装置学Ⅰ 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ <b>代謝機能代行装置学実習</b>
専	教授	佐藤 正一 (63) <令和4年4月> 博士(保健学)
		情報科学基礎演習 キャリアデザインゼミナール 医用画像処理工学 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	六車 仁志 (56) <令和4年4月> 博士(工学)
		基礎物理学 キャリアデザインゼミナール 医用電気工学Ⅱ システム工学 システム工学演習 医用生体工学演習 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専	准教授	小久保 謙一 (55) 〈令和5年4月〉 博士(工学)	専	准教授	小久保 謙一 (54) 〈令和5年4月〉 博士(工学)
		医用化学工学 生体材料工学 医用生体工学演習 代謝機能代行装置学Ⅱ 代謝機能代行装置学実習 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			医用化学工学 生体材料工学 医用生体工学演習 代謝機能代行装置学Ⅱ 代謝機能代行装置学実習 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	大内 克洋 (50) 〈令和4年4月〉 博士(学術)	専	准教授	大内 克洋 (50) 〈令和5年4月〉 博士(学術)
		キャリアデザインゼミナール 医用電気工学Ⅰ 医用電子工学Ⅰ 医用電気・電子工学実験 計測工学演習 システム工学演習 生体計測装置学実習 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			医用電気工学Ⅰ 医用電子工学Ⅰ 医用電気・電子工学実験 計測工学演習 システム工学演習 生体計測装置学実習 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	小寺 宏尚 (51) 〈令和5年4月〉 博士(医学)	専	准教授	
		医用治療技術学Ⅱ 医用治療技術学実習 呼吸機能代行装置学Ⅰ 呼吸機能代行装置学実習 代謝機能代行装置学実習 医用機器安全管理学Ⅱ 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			
専	准教授	塚尾 浩 (48) 〈令和4年4月〉 博士(医学)	専	准教授	塚尾 浩 (48) 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		キャリアデザインゼミナール 基礎医学実習 医用機器学概論 医用治療技術学Ⅰ 医用治療技術学実習 医用機器安全管理学Ⅰ ※ 医用機器安全管理学Ⅲ 医用機器安全管理学実習 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			キャリアデザインゼミナール 基礎医学実習 医用機器学概論 医用治療技術学Ⅰ 医用治療技術学実習 医用機器安全管理学Ⅰ ※ 医用機器安全管理学Ⅲ 医用機器安全管理学実習 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ <b>生理学</b> <b>呼吸機能代行装置学Ⅰ</b> <b>呼吸機能代行装置学Ⅱ</b> <b>呼吸機能代行装置学実習</b> <b>医用機器安全管理学Ⅱ</b>



専	准教授	東郷 好美 <令和4年4月>			
		キャリアデザインゼミナール 基礎医学実習 病態生理学 呼吸機能代行装置学Ⅱ 呼吸機能代行装置学実習 循環器機能代行装置学Ⅰ 循環器機能代行装置学実習 医用機器安全管理学Ⅰ ※ 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			
専	准教授	浅井 孝夫 (42) <令和4年4月> 博士(医学)	浅井 孝夫 (42) <令和4年4月> 博士(医学)		
		情報科学基礎演習 キャリアデザインゼミナール 臨床生化学 基礎情報工学 医用情報処理工学 医用情報処理工学演習 臨床統計学 生体物性工学 医用生体工学演習 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	情報科学基礎演習 キャリアデザインゼミナール 臨床生化学 基礎情報工学 医用情報処理工学 医用情報処理工学演習 臨床統計学 生体物性工学 医用生体工学演習 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ		
専	講師	中谷 直史 (39) <令和5年4月> 博士(工学)	中谷 直史 (38) <令和5年4月> 博士(工学)		
		医用電子工学Ⅱ 医用電気・電子工学実験 計測工学 計測工学演習 生体計測装置学 生体計測装置学実習 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	医用電子工学Ⅱ 医用電気・電子工学実験 計測工学 計測工学演習 生体計測装置学 生体計測装置学実習 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ		
専	講師	藤井 豊 (37) <令和4年4月> 博士(医学)			
		キャリアデザインゼミナール 生理学 基礎医学実習 医用治療技術学実習 循環器機能代行装置学Ⅱ 循環器機能代行装置学実習 医用機器安全管理学実習 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			

専	助教	門屋 悠香 (43) 〈令和5年4月〉 博士 (医学)
		スポーツ理論・実技 スポーツ健康運動方法論
兼任	講師	門屋 悠香 (42) 〈令和4年4月〉 博士 (医学)
		スポーツ理論・実技 スポーツ健康運動方法論
兼任	助教	堀内 優奈 (28) 〈令和4年4月〉 博士 (保健学)
		基礎化学 情報科学基礎演習
兼任	助教	堀 敦詞 (31) 〈令和4年4月〉 医学 (保健学)
		基礎生物学 情報科学基礎演習
兼任	准教授	加茂 敦子 (42) 〈令和4年4月〉 博士 (医学)
		解剖学
兼任	教授	泉 浩 (63) 〈令和4年4月〉 博士 (医学)
		病理学 医学概論 ※ 病態学Ⅲ (神経・運動器・腎泌尿生殖器・小児疾患) ※
兼任	准教授	野木 岐実子 (55) 〈令和4年4月〉 博士 (臨床検査学)
		血液学
兼任	教授	三宅 一徳 (63) 〈令和4年4月〉 博士 (医学)
		医学概論 ※ 子一ム医療 病態学Ⅰ (循環器・呼吸器・感染症・血液疾患) ※ 病態学Ⅱ (消化器・代謝・内分泌・免疫疾患) ※
兼任	教授	青木 きよ子 (73) 〈令和4年10月〉 博士 (医学)
		看護学概論
兼任	教授	行正 信康 (65) 〈令和4年10月〉 博士 (医学)
		臨床免疫学
兼任	講師	高橋 徳江 (64) 〈令和4年10月〉 学士 (栄養学)
		栄養学・臨床栄養学

専	助教	門屋 悠香 (42) 〈令和5年4月〉 博士 (医学)
		スポーツ理論・実技 スポーツ健康運動方法論
兼任	講師	門屋 悠香 (42) 〈令和4年4月〉 博士 (医学)
		スポーツ理論・実技 スポーツ健康運動方法論
兼任	助教	堀内 優奈 (28) 〈令和4年4月〉 博士 (保健学)
		基礎化学 情報科学基礎演習
兼任	助教	堀 敦詞 (31) 〈令和4年4月〉 医学 (保健学)
		基礎生物学 情報科学基礎演習
兼任	准教授	加茂 敦子 (42) 〈令和4年4月〉 博士 (医学)
		解剖学
兼任	教授	泉 浩 (63) 〈令和4年4月〉 博士 (医学)
		病理学 医学概論 ※ 病態学Ⅲ (神経・運動器・腎泌尿生殖器・小児疾患) ※
兼任	教授	三宅 一徳 (63) 〈令和4年4月〉 博士 (医学)
		医学概論 ※ 子一ム医療 病態学Ⅰ (循環器・呼吸器・感染症・血液疾患) ※ 病態学Ⅱ (消化器・代謝・内分泌・免疫疾患) ※
兼任	教授	青木 きよ子 (72) 〈令和4年10月〉 博士 (医学)
		看護学概論
兼任	教授	行正 信康 (65) 〈令和4年10月〉 博士 (医学)
		臨床免疫学
兼任	講師	高橋 徳江 (64) 〈令和4年10月〉 学士 (栄養学)
		栄養学・臨床栄養学

兼任	教授	京極 伸介 (62) 〈令和4年10月〉 博士 (医学)
		放射線医学概論
兼任	教授	三井田 孝 (66) 〈令和7年4月〉 博士 (医学)
		医療倫理論
兼任	教授	佐々木 信一 (59) 〈令和4年10月〉 博士 (医学)
		病態学Ⅰ (循環器・呼吸器・感染症・血液疾患) ※
兼任	教授	長田 太郎 (56) 〈令和5年4月〉 博士 (医学)
		病態学Ⅱ (消化器・代謝・内分泌・免疫疾患) ※
兼任	教授	卜部 貴夫 (63) 〈令和5年10月〉 博士 (医学)
		病態学Ⅲ (神経・運動器・腎泌尿生殖器・小児疾患) ※
兼任	教授	岡本 健 (62) 〈令和6年4月〉 博士 (医学)
		救命救急学概論
兼任	助教	平野 洋平 (42) 〈令和6年4月〉 博士 (医学)
		集中治療医学
兼任	講師	柿沼 美穂 (60) 〈令和4年4月〉 修士 (芸術学)
		科学と哲学
兼任	講師	石上 和敬 (58) 〈令和4年4月〉 博士 (文学)
		生命倫理
兼任	講師	後藤 新 (45) 〈令和4年10月〉 修士 (法学)
		日本近現代史 法と社会
兼任	講師	小西 聖子 (67) 〈令和4年10月〉 博士 (医学)
		人間関係論 (コミュニケーション論) ※ 臨床心理学 ※
兼任	講師	山本 このみ (34) 〈令和4年10月〉 修士 (臨床心理学)
		人間関係論 (コミュニケーション論) ※ 臨床心理学 ※

兼任	教授	京極 伸介 (62) 〈令和4年10月〉 博士 (医学)
		放射線医学概論
兼任	教授	三井田 孝 (63) 〈令和7年4月〉 博士 (医学)
		医療倫理論
兼任	教授	佐々木 信一 (58) 〈令和4年10月〉 博士 (医学)
		病態学Ⅰ (循環器・呼吸器・感染症・血液疾患) ※
兼任	教授	長田 太郎 (55) 〈令和5年4月〉 博士 (医学)
		病態学Ⅱ (消化器・代謝・内分泌・免疫疾患) ※
兼任	教授	卜部 貴夫 (61) 〈令和5年10月〉 博士 (医学)
		病態学Ⅲ (神経・運動器・腎泌尿生殖器・小児疾患) ※
兼任	教授	岡本 健 (60) 〈令和6年4月〉 博士 (医学)
		救命救急学概論
兼任	助教	平野 洋平 (40) 〈令和6年4月〉 博士 (医学)
		集中治療医学
兼任	講師	柿沼 美穂 (60) 〈令和4年4月〉 修士 (芸術学)
		科学と哲学
兼任	講師	石上 和敬 (58) 〈令和4年4月〉 博士 (文学)
		生命倫理
兼任	講師	後藤 新 (45) 〈令和4年10月〉 修士 (法学)
		日本近現代史 法と社会
兼任	講師	小西 聖子 (67) 〈令和4年10月〉 博士 (医学)
		人間関係論 (コミュニケーション論) ※ 臨床心理学 ※
兼任	講師	山本 このみ (34) 〈令和4年10月〉 修士 (臨床心理学)
		人間関係論 (コミュニケーション論) ※ 臨床心理学 ※

兼任	講師	積田 淳史 (39) 〈令和4年10月〉 博士 (商学)
		情報コミュニケーション論
兼任	講師	永井 攻治 (48) 〈令和5年4月〉 博士 (経済学)
		現代社会と経済
兼任	講師	近藤 宏樹 (37) 〈令和4年4月〉 博士 (数理学)
		基礎数学
兼任	講師	NAKAMURA KEIKO (60) 〈令和4年4月〉 Ph. D. (Psychology)
		英語 I 英語 II
兼任	講師	濱田 彰 (36) 〈令和4年4月〉 博士 (言語学)
		英語 I 英語 II
兼任	講師	梶浦 恭平 (42) 〈令和4年4月〉 修士 (学術)
		英語 I 英語 II
兼任	講師	HAYASHI PATRIZIA (57) 〈令和5年4月〉 Master of Business Administration
		英語表現 I 英語表現 II
兼任	講師	RODE TYSON (43) 〈令和5年4月〉 Master of Science in Education
		英語表現 I 英語表現 II
兼任	講師	杉 雪子 (70) 〈令和6年4月〉 医学博士
		医療英語
兼任	講師	劉 磊 (45) 〈令和5年4月〉 修士 (応用言語学)
		中国語 I (入門) 中国語 II (初級)
兼任	講師	久松 健一 (67) 〈令和5年4月〉 文学修士
		フランス語 I (入門) フランス語 II (初級)

兼任	講師	積田 淳史 (39) 〈令和4年10月〉 博士 (商学)
		情報コミュニケーション論
兼任	講師	永井 攻治 (47) 〈令和5年4月〉 博士 (経済学)
		現代社会と経済
兼任	講師	近藤 宏樹 (37) 〈令和4年4月〉 博士 (数理学)
		基礎数学
兼任	講師	NAKAMURA KEIKO (60) 〈令和4年4月〉 Ph. D. (Psychology)
		英語 I 英語 II
兼任	講師	HAYASHI PATRIZIA (56) 〈令和4年4月〉 Master of Business Administration
		英語表現 I 英語表現 II 英語 I 英語 II
兼任	講師	RODE TYSON (42) 〈令和4年4月〉 Master of Science in Education
		英語表現 I 英語表現 II 英語 I 英語 II
兼任	講師	杉 雪子 (68) 〈令和6年4月〉 医学博士
		医療英語
兼任	講師	劉 磊 (44) 〈令和5年4月〉 修士 (応用言語学)
		中国語 I (入門) 中国語 II (初級)
兼任	講師	久松 健一 (66) 〈令和5年4月〉 文学修士
		フランス語 I (入門) フランス語 II (初級)

兼任	講師	棚瀬 あずさ (38) 〈令和5年4月〉 博士(文学)
		スペイン語Ⅰ(入門) スペイン語Ⅱ(初級)
兼任	講師	佐々木 文彦 (63) 〈令和4年4月〉 文学修士
		国語表現法
兼任	講師	西川 寛之 (50) 〈令和4年4月〉 修士(応用言語学)
		国語表現法
兼任	講師	田鍋(吉田) 桂子 (49) 〈令和4年4月〉 修士(教育学)
		国語表現法
兼任	講師	田城 孝雄 (65) 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		公衆衛生学 医療関連法規
兼任	講師	亀井 淳三 (66) 〈令和4年10月〉 薬学博士
		臨床薬理学

兼任	講師	棚瀬 あずさ (37) 〈令和5年4月〉 博士(文学)
		スペイン語Ⅰ(入門) スペイン語Ⅱ(初級)
兼任	講師	佐々木 文彦 (63) 〈令和4年4月〉 文学修士
		国語表現法
兼任	講師	西川 寛之 (50) 〈令和4年4月〉 修士(応用言語学)
		国語表現法
兼任	講師	田鍋(吉田) 桂子 (49) 〈令和4年4月〉 修士(教育学)
		国語表現法
兼任	講師	田城 孝雄 (65) 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		公衆衛生学 医療関連法規
兼任	講師	亀井 淳三 (66) 〈令和4年10月〉 薬学博士
		臨床薬理学
専	講師	向田 宏 (40) 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		キャリアデザインゼミナール 基礎医学実習 病態生理学 医用治療技術学Ⅱ 循環器機能代行装置学Ⅰ 循環器機能代行装置学Ⅱ 循環器機能代行装置学実習 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
兼任	助教	梅森 宮加 (33) 〈令和4年4月〉 博士(医学) 生理学
兼任	教授	廣井 禎之 (62) 〈令和4年4月〉 博士(医学) 生理学
兼任	准教授	木村 豊 (57) 〈令和4年4月〉 博士(医学) 生理学



(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

--

【令和4年度】

<ul style="list-style-type: none"><li>・令和4年3月末に小寺宏尚専任准教授が就任辞退、令和4年度中に後任の専任教員を採用予定</li><li>・令和4年3月末に東郷好美専任准教授が就任辞退、令和4年度中に後任の専任教員を採用予定</li><li>・令和4年3月末に藤井豊専任講師が就任辞退、令和4年4月に後任として向田宏専任講師が就任、「生理学」については令和4年4月に後任として梅森宮加非常勤講師が就任</li><li>・令和4年3月末に野木岐実子非常勤講師が就任辞退、令和4年4月に後任として東克巳非常勤講師が就任</li><li>・令和4年3月末に濱田彰非常勤講師が就任辞退、令和4年4月に後任としてHAYASHI PATRIZIA非常勤講師が就任</li><li>・令和4年3月末に梶浦恭平非常勤講師が就任辞退、令和4年4月に後任としてRODE TYSON非常勤講師が就任</li><li>・令和4年4月に新作慶明非常勤講師が就任（教育内容充実のため、石上和敬非常勤講師（授業科目「生命倫理」）とオムニバス授業実施）</li><li>・令和4年4月に佐藤まゆみ非常勤講師、高谷真由美非常勤講師、池田恵非常勤講師、長瀬雅子非常勤講師、樋野恵子非常勤講師、以上が就任（教育内容充実のため、青木きよ子非常勤講師（授業科目「看護学概論」）とオムニバス授業実施）</li></ul>
---

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
4	6	2	1	13	0	4	2	1	0	7	0
(4)	(2)	(0)	(1)	(7)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
4	4	2	1	11	0	5	4	3	1	13	0
[ 0 ]	[ Δ2 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ Δ2 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ Δ2 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65	2	3
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{11}{13} = \boxed{84.61} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{7} = \boxed{28.57} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	准教授	小寺 宏尚	R4.3	必修	医用治療技術学Ⅱ	①	R4.03自己都合による理由により就任辞退						
				必修	医用治療技術学実習	③							
				必修	呼吸機能代行装置学Ⅰ	①							
				必修	呼吸機能代行装置学実習	①							
				必修	代謝機能代行装置学実習	①							
				必修	医用機器安全管理学Ⅱ	①							
				必修	臨床実習	③							
				必修	臨床工学総合演習Ⅰ	③							
				必修	臨床工学総合演習Ⅱ	③							
				必修	卒業研究Ⅰ	③							
2	准教授	東郷 好美	R4.3	必修	キャリアデザインゼミナール	①	R4.03自己都合による理由により就任辞退						
				必修	基礎医学実習	①							
				選択	病態生理学	①							
				必修	呼吸機能代行装置学Ⅱ	①							
				必修	呼吸機能代行装置学実習	①							
				必修	循環器機能代行装置学Ⅰ	①							
				必修	循環器機能代行装置学実習	①							
				必修	医用機器安全管理学Ⅰ	③							
				必修	臨床実習	③							
				必修	臨床工学総合演習Ⅰ	③							
				必修	臨床工学総合演習Ⅱ	③							
				必修	卒業研究Ⅰ	③							
				必修	卒業研究Ⅱ	③							
3	講師	藤井 豊	R4.3	必修	キャリアデザインゼミナール	①	R4.03自己都合による理由により就任辞退						
				必修	生理学	②							
				必修	基礎医学実習	①							
				必修	医用治療技術学実習	③							
				必修	循環器機能代行装置学Ⅱ	①							
				必修	循環器機能代行装置学実習	①							
				必修	医用機器安全管理学実習	③							
				必修	臨床実習	①							
				必修	臨床工学総合演習Ⅰ	①							
				必修	臨床工学総合演習Ⅱ	①							
				必修	卒業研究Ⅰ	①							
必修	卒業研究Ⅱ	①											
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)				
3	人	必修	35	科目	必修	20	科目	必修	1	科目	必修	14	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	36	科目	計	21	科目	計	1	科目	計	14	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当無し								
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び ( ) 書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
3	人	必修	35	科目	必修	20	科目	必修	1	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	36	科目	計	21	科目	計	1	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{3}{13} = \boxed{23.07} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当無し								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)				
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職教員分の後任人事は令和4年度中に滞りなく行い補充する予定であり、担当体制には何の問題もない。東郷好美専任准教授の辞任について、令和4年度(開設年度)における当該教員の1年次担当予定科目の「基礎医学実習」及び「病態生理学」ともに専任教員間で担当科目調整を行った。藤井豊専任講師の辞任について、令和4年度(開設年度)における当該教員の1年次担当予定科目の「基礎医学実習」及び「生理学」ともに専任教員間で担当科目調整を行った。教員交代に係る学生への周知については、授業時間割表、シラバス等での周知を行った。なお、2年次以降の担当予定科目については、令和4年度中に後任の専任教員を採用予定である。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況		今 後 の 実 施 計 画
	該当なし				

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<医療科学部 臨床工学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 令和4年度内の医療科学部FD推進委員会の設置に向け、現在規程を整備している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） FD推進委員会の設置前ではあるが、設置を前提に段階的に組織化の準備を行っており、暫定的に委員会を2回開催している。</p> <p>c 委員会の審議事項等 医療科学部ファカルティ・ディベロップメント委員会運営規則（案）について 2022年度医療科学部FD実施計画（案）について</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 2022年度第1回（4月1日）FD・SD研修「学校法人順天堂の歴史」 2022年度第2回（4月1日）FD・SD研修「臨床検査技師及び臨床工学技士養成カリキュラム等の変更（見直し）について」 2022年度第3回（4月2日）FD・SD研修「アクティブ・ラーニングの開発・研究：ファシリテーション」 2022年度第4回（4月4日）FD・SD研修「事例研究：J-Passの授業での活用方法」 2022年度第5回（5月18日）FD・SD研修「科研費の申請について（基本編）」</p> <p>b 実施方法 対面方式</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 全教職員出席。全て録画しており、やむを得ず欠席した教職員はオンデマンド方式で視聴した。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 教授会を含む各種委員会で検証を行い、授業改善等に活かしている。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 授業評価アンケートは授業ごと（毎時間）に実施している。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 教員には授業内容・方法とシラバスの整合性を確認するため授業評価アンケート結果を伝える予定である。 また、結果をもとに授業改善に関する具体的な方策を記したリフレクションペーパーを提出させる予定である。 これに基づきシラバスの内容を見直し、授業改善を図る計画である。</p>
---

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

- ・令和4年4月、設置の趣旨・目的のとおり医療科学部臨床検査学科を開設した。
- ・1年生について、アドミッションポリシーに基づく適切な入学試験を実施し、112名の入学生を受け入れ順調にカリキュラム運営を行っている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・第15次自己点検・評価報告書（令和2年度）令和3年10月公表
- ・第16次自己点検・評価報告書（令和3年度）令和4年10月公表予定

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、全学に配付するとともに、大学ホームページ上に掲載公表する予定である。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成28年10月、大学基準協会による大学評価を受審し、同協会の大学基準に適合していると認定されたが、平成30年12月に文部科学省が公表した「医学部医学科の入学選抜における公正確保等に係る緊急調査最終まとめ」を受けて、令和2年2月、同協会が本学の平成28年度の適合判定を取り消し、不適合へと判定を変更した。
- 令和2年7～10月に同協会の追評価を受審し、令和3年3月に基準適合の認定を受けている。
- 当該認定の期間が令和3年4月から令和6年3月であることから、令和5年度に認証評価受審を予定している。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

《 a で「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他 ( ) ]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 [ ( ) ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。